

『中小企業会計研究』執筆要領

中小企業会計学会 学会誌編集委員会
平成 27 年 5 月 6 日 制定
平成 27 年 8 月 27 日 改定

1. 表紙

表紙には、論題、執筆者名、所属および肩書き、論文要旨（日本語：横 30 字×縦 25 行以内）、キーワード（日本語：5 語以内）を記載します。

2. 原稿の様式

応募原稿は、MS Word による横書きで、A4 判、横 40 文字×縦 37 行とし、余白は上 30mm、下 30mm、左・右 20mm をとります。原稿は、上記 A4 判用紙 11 枚前後（本文、図表、注、参考文献を含む。表紙を除く）、原則として刷り上がり 12 頁前後とします。ただし、編集委員会が妥当と認めた場合には、制限頁数を超えることができます。

日本語は MS 明朝、英語は Times New Roman とします。見出し、図、表の題目は MS ゴシック（太字）とします。漢字、ひらがな、カタカナ以外の文字（例えば、数字、アルファベット）は半角にしてください。文字化けを避けるために、特殊なフォント文字は使用しないでください。フォントサイズ等は次のとおりです。

| | | |
|------------|-----------|-----------------|
| 論題 | 14 ポイント | センタリング |
| サブタイトル | 11 ポイント | センタリングし、前後を一で囲む |
| 執筆者名 | 11 ポイント | 右寄せ |
| 所属 | 11 ポイント | 右寄せ |
| 論文要旨・キーワード | 10 ポイント | 左寄せ |
| 本文 | 10.5 ポイント | 左寄せ |
| 見出し | 12 ポイント | 左寄せ |
| 注（文末） | 10 ポイント | 左寄せ |
| 参考文献 | 10 ポイント | 左寄せ |

3. スタイル

本文の節、項は、下記のように付番してください（ローマ数字の使用や、数字のない節立ては避ける）。

(1 行空き)

1 ……………

(1 行空き)

本文

(1 行空き)

1.1 ……………

本文

(1 行空き)

1.1.1 ……………

注

参考文献

4. 表記

現代仮名遣い、当用漢字、新字体を使用してください。接続詞（および、ならびに、また、ただし

等)についてはひらがなを、数字についてはアラビア数字を使ってください。また、外国人名については原語により表記してください。なお、本文の句読点は、句点(。)と読点(,)とします。

5. 図表

図と表は区別せず、章・節に関係なく図表 1、図表 2 と通し番号を付してください。

図表番号(図表 1、図表 2)は図表の上部に記載し、図表番号に続けて 1 文字空けてから、タイトルをつけてください。なお、図表番号、タイトルの位置はセンタリングで配置して下さい。

図表の下部には、出所を示して下さい。

[例] 出所：河崎 2012, 108 図表 3。

出所データを表記する位置は、図表右端位置に合わせた右寄せとしてください。

6. 引用および注

文献を引用するための注については、本文の該当箇所に次の様式で記載してください。

[例] 「……………」という見解もある(河崎 2009, 108 ; 河崎・万代 2012, 251-253)。

河崎 (2010, 210) によると……………」

- ・名前と年号の間を半角空けて、文献のページ数は数字のみで記載してください。
- ・文献が複数ある場合は、「;」で区切ってください。
- ・年号については西暦を、表記にあたっては半角文字を使用してください。
- ・人名の表記において日本人については姓のみとし、外国人についてはファミリーネームを記載してください。なお、上記の表記法においては区別ができない場合には、人名については Sprouse, R. T. または神戸太郎のようにフルネームに、年号については年号に a, b を付してください。

説明のための注については、本文の末尾に一括して記載してください。なお、かかる注については本文該当箇所の右肩に 1, 2 のようにルビ上ツキで示してください。

7. 参考文献

研究に引用した文献(論文、著書、URL 等)のリストを本文の最後に、外国文献(ファミリーネームのアルファベット順)、和文献(五十音順)の順に次の様式で記載してください。

- ・和書 著者名. 出版年. 『書名』出版社名.
- ・論文(和) 著者名. 出版年. 「論文名」『雑誌名』巻数(号数) : 頁数-頁数.
- ・洋書 family name, personal name. 出版年. 書名, 出版地(または出版社名).
- ・論文(洋) family name, personal name. 出版年. 論文名. 雑誌名.巻数(号数) : 頁数-頁数.(英語以外の外国語文献については、この形式にならない適宜変更してください)

なお、personal name については R.T. のように省略してください。また、論文の頁数については当該論文のフルページを記載してください。さらに、出版年については西暦で記載してください。

著者が複数の場合、日本人については神戸太郎・大阪花子・和歌山沙羅のように、外国人については Sprouse, R.T. and M. Moonitz のように記載してください。

論文が著書の 1 章に該当している場合、和書については

著者名. 出版年. 「論文名」編著者名編. 出版年. 『書名』出版社名 : 頁数-頁数.

洋書については

family name, personal name. 出版年. “論文名,” in family name, personal name (ed.). 出版年. 書名. 出版地(または出版社名) : 頁数-頁数.

としてください。

訳書については、原著書を使用しない場合には和書に準じた取扱いをしてください。原著書を使用する場合には、原著書について洋書として記載した後に、括弧書きで訳書を記載してください。[例] Littleton, A.C.1933. *Accounting Evolution to 1900*. New York (片野一郎訳[1978]『リトルトン 会計発達史(増補版)』同文館出版)。

なお、編著、訳書については、それを引用文献として実際に使用する場合を除いて[出版年] の記

載は必要ありません。ただし、その場合には、編著、訳書の出版地（または出版社名）に続いて出版年を記載してください。

参考 URL は、参考文献に続けて、参照元が外国語サイトの場合はアルファベット順、日本語サイトの場合は五十音順に記載してください。

8. 簿記に関する記述

簿記に関する記述をする際、仕訳の形式は次のようにしてください。

(借) 勘定科目 ××× (貸) 勘定科目 ×××

9. 英文要旨

論題、執筆者名、所属および肩書き、論文要旨（英語、1 頁以内）、キーワード（英語：5 語以内）を記載します。

10. その他

書式の統一を図るため、文章、仮名遣いなどについて、編集委員会が修正することがあります。

以上